

大乳商通信

(第12号)

発行所 大阪府牛乳商業組合
 大阪市西区北堀江 3-6-28
 Tel 06-6538-3061 Fax 06-6538-3067
 発行者 理事長 小松 治

発行日
 平成30年3月21日

平成三十年 理事長 あいさつ

日頃は、組合活動にご理解・ご協力、誠に有難うございます。大乳商通信第12号発刊にあたり、所信を述べさせていただきます。私が就任当初よりブロック単位での活動をお願いして参りました。これは、組合員の減少で、総代会が総会となり、支部も機能しなくなり、規約改定も再三しなくてはなりません。現在ブロック単位での理事定数を決め、理事会の機能強化を推進しています。組織そのものをスリム化する為の施策です。理事会や総会の出席者が増えることを心から願っています。

また、総務・財務・活性・厚生・広報の各部会がそれぞれ頑張っています。特に活性化部会では、大阪府中小企業団体中央会の支援推進を受けて、また若い部会員の参入で、牛乳アドバイザー制度の創設、ホームページ作成、キャラクター・ロゴ・キャッチコピーの製作、専門家による勉強会(研修会)等、今後あるべき牛乳販売店の新しい姿を模索・創造・推進して参ります。

理事長を拜命して、間もなく4年、私なりに一心に組合運営をして参りましたが、今年役員改選の年です。我こそはと思う諸氏は、手をあげて頂きたいと思いますが、私の挨拶といたします。

理事長 小松 治

平成30年新年理事会・互礼会を開催

1月26日(金) 平成30年 新年理事会・新年互礼会を開催

理事出席者27名(うち委任状9名)

来賓として、大阪府中小企業団体中央会 谷山真記子総務部長、株式会社酪農乳業速報 椿原義明編集部長の参席をいただき、理事会議事進行の後、新年互礼会(懇親会)に入りました。小松理事長、来賓の大阪府中小企業団体中央会 谷山真記子総務部長の挨拶に続き、津村副理事長の乾杯発声により和やかに歓談の運びとなり、散会いたしました。



(大阪府牛乳商業組合 小松理事長)



(大阪府中小企業団体中央会 谷山様)

活動報告

活性化部会

11月14日(出席者 7名 他、中小企業診断士及び中央会担当部長)

ホームページの構築について

・情報や意見交換し、ホームページの構築を進める。

・認定制度「牛乳アドバイザー」の登録申請をすることを決定する。

12月19日(出席者 9名 他、中小企業診断士及び中央会担当部長)

・牛乳アドバイザー認定制度についてどのような方法で認定するかを決定。専門家の講師による研修の受講者に認定する。

・認定後にどうするか、ホームページに牛乳アドバイザー認定者の店として掲載、又は認定ステッカーを作成し配布するか、次回の課題として進める。

・登録商標について

11月15日に「牛乳アドバイザー」出願。結果は来年5月頃

・ホームページのトップデザインについて

専門家作成による途中案について協議し、組合ホームページ作成に向けて進めていくこととする。

活性化部会では、大阪府の助成を受け、牛乳商業組合のホームページを開設いたします。

当組合の概要・歴史・事業内容等、掲載する予定です。

また、ご希望の組合員の皆様の、店舗情報も掲載したいと考えています。

取り扱いメーカー・配達エリア・問い合わせ先の他、おすすめ商品・二次商材・店主のプロフィール等、可能な限り掲載いたします。組合員のご商売に役立てて頂きたいと願っています。どうか趣旨ご理解のうえ、ご協力お願いいたします。

活性化部会・広報部会では、産・学コラボレーションで、ゆるキャラ・ロゴ・キャッチコピー等の作成に取り組んでいます

福島区にある、創造者デザイン専門学校との協力で、牛乳商業組合の趣旨に沿ったデザインを、授業の一環として生徒の皆様へ、製作していただきます。

製作されたデザインの商標権利は、

牛乳商業組合に帰属します。

製作の過程は、順次、大乳商通信にて

おしらせします。

乞うご期待ください。



(ホームページトップデザイン)



《 2017年12月の都市別1世帯当たり牛乳支出金額》

都市	牛乳 金額(円)	乳飲料 金額(円)	ヨーグルト 金額(円)
東京	1,434	158	1,275
横浜	1,266	73	1,395
大阪	1,539	143	1,406
神戸	1,359	147	1,014
奈良	1,561	132	1,091
京都	1,364	87	1,037
和歌山	1,216	133	841

一日刊酪農乳業速報 2018年2月21日第11511号より抜粋—

《厚生部会より》

— 山行きクラブ — モーモーハイキングだより

『奈良・春日山原生林を歩く』
12月3日、山行きクラブのハイキングに夫婦で参加しました。世界遺産の春日山原生林を歩くということで、奈良市東部の破石バス停がスタート。

まずは、奈良時代に作られた、ピラミッドのような『史跡頭塔』を見学。そして、旧柳生街道・滝坂の道をハイキング、石畳の道は歩きにくく、滑りやすく、年配の方は大変だったと思います。

途中、観音様や地藏様の彫られた石仏を見、最終目的地の首切り地藏尊へは、お昼前に到着、昼食の後、帰路は少し歩き良い遊歩道、台風被害でがけ崩れの横をすり抜け、紅葉真っ盛りの道を下りました。

天候にめぐまれた一日、いっぱい森林浴を楽しんできました。

広報部長 津村 調和



(滝坂の道)



(首切り地藏)



(春日山原生林)

【牛乳組合からのお知らせ】

大阪府食品国民健康保険料の払込は、毎月25日迄に！

会議の出欠は、期日迄に必ず返信連絡を！

港支部 小林 博志 氏 御尊父 『敏明』 様

平成二十九年十一月五日

享年七十八歳にてご逝去されました。

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

【編集後記】

1月26日開催の「新年互礼会」は、昨年同様に全組合員様にご案内させていただきました。

お越しいただいた組合員の方々、本当に有難うございました。

また、貴重なご意見もいただき、今後の大乳商通信に生かしていきたいと思っております。

組合員皆様からの原稿や情報をお寄せください。お待ちしております。



広報部長 津村 調和

《牛乳販売店は地域活性化に向け大きな可能性》

山梨県南アルプス市の牛乳販売店、株式会社サンミルク諏訪の諏訪修啓代表取締役は2月2日、「当社は地域の活性化に向け地元特産品の販売や高齢者が安心して暮らすことができるサービスの展開など、さまざまな取り組みを行っている。牛乳販売店には大きな可能性がある」と強調した。

全国牛乳流通改善協会が東京で開いた牛乳販売店優良事例発表会で、同社は最優秀の農水大臣賞を受賞している。

サンミルク諏訪は、和菓子屋を営んでいた諏訪代表の祖父が1957年に副業として「雪印諏訪販売店」を開設したのが始まり。地元ニーズに応えるため、1965年に牛乳販売店として専業化、2002年にサンミルク諏訪に店名を変更。2011年に株式会社化、現在の従業員は18人（パート・アルバイト含む）牛乳・乳飲料・ヨーグルトなどの配達本数は1日平均1500本に及ぶ。

同社の取り組みで特徴的なのは、地域の果樹農家約30戸と提携し、桃やブドウなど地元特産品を取り扱っている点だ。このほか、高齢者が暮らしやすい環境をつくるため、買い物代行やゆうパックへの取り次ぎ、「栄養バランス弁当」の宅配などを実施、地域社会への貢献も果たしている。

諏訪代表は「当社は宅配を通し、客を笑顔にすることを1番の行動理念にしている。牛乳宅配は異業種参入などもあり、市場環境は厳しさを増しているのが実態。こうした状況の中、まずは地域活性化が大切と考え、地元特産品の販売や高齢者が安心して暮らすことができるサービスの展開などをスタートした。牛乳販売店には大きな可能性がある。地域の顧客との関係をより強固なものとして、売り上げの拡大へとつなげていきたい」と語った。

一日刊酪農乳業速報 2018年2月6日第11501号より抜粋—